

# 単元2 避難行動要支援者の 存在と避難支援



## ■ 目標

---

- 地域に住む支援が必要な方の存在に気づく
- 避難行動要支援者の特性と避難支援の方法について理解する
- 個別避難計画の目的と市町の取組について知る

## ■ 内容

---

1. 支援が必要な方の存在
2. 【ワーク】要支援者のために私たちができること
3. 個別避難計画の目的と我が市町の取組
4. まとめ

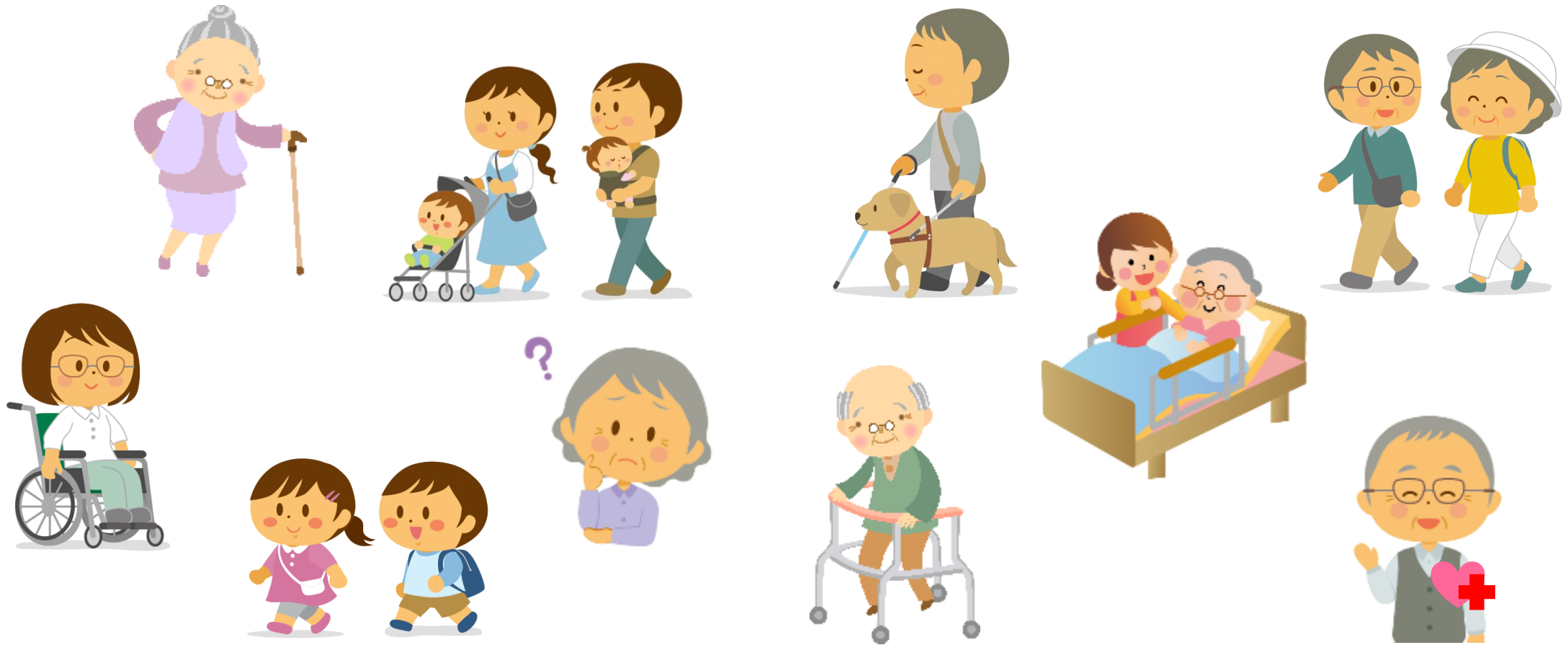


# 01

## 支援が必要な方の存在

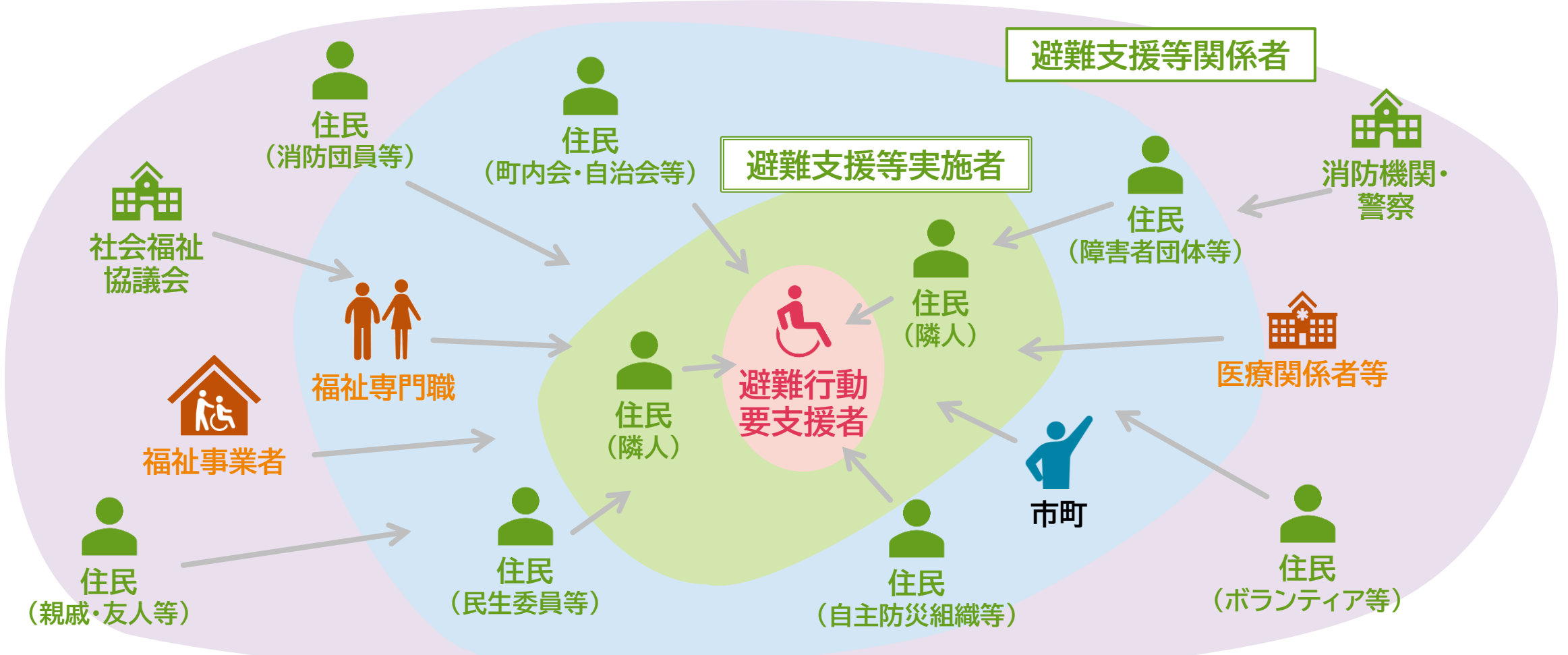
**みなさんが住む地域には  
どんな方が住んでいますか？**

# 地域に住んでいる様々な方



自力で避難することが難しく、避難の支援が必要な方を  
「避難行動要支援者」という

# 避難行動要支援者とその避難支援等に関わる人たち



避難行動要支援者を中心として、平常時・災害時に地域の様々な人たちが関わりながら避難支援等を行う

**避難行動要支援者は、  
災害時どんなことに困るのでしょうか？**

# 避難行動要支援者が避難のときに困ること



自分の力で避難場所  
まで移動できない



避難のための情報が  
なかなかキャッチ  
できない



避難が必要か  
判断するのが難しい



避難した先で  
生活できるか心配



避難することを躊躇してしまう方もいる



もう少し詳しく見てみましょう/考えてみましょう

# 避難行動要支援者が困ること

自分の力で避難場所  
まで移動できない

例えば…



杖や歩行器を  
使って歩く方

車いすの移動が  
必要な方



避難のための情報が  
なかなかキャッチできない

例えば…

目が見えない、  
見えにくい方



耳が聞こえない、  
聞こえにくい方

# 避難行動要支援者が困ること

避難が必要かどうか  
判断するのが難しい

例えば…



認知症により物事を  
理解することができない、  
時間がかかってしまう方

知的、精神障害により  
判断ができない方、  
理解しにくい方



避難した先で  
生活できるか心配

例えば…



内部障害や難病により、  
環境の変化に適応するのが  
難しい方

## まとめ

- 自力で避難できないため、避難の支援が必要な方のことを、「避難行動要支援者」という
- 地域には、自力での避難行動や避難生活が難しい方が生活しており、命を守るためには避難行動や避難生活を支援してくれる人の存在が不可欠
- どういったことに困っているのか、助けを必要としているのかは人によって様々である
- 誰もが年齢を重ねることや、不慮の事故などによって助けを必要とするかもしれない

# 02

【ワーク】  
要支援者のために  
私たちができること

もし住んでいる地域に  
避難するときに困っている方がいたら  
私たちに何ができるか考えてみましょう

# 「要支援者のために私たちができること」グループワークについて

避難行動要支援者の特性と避難支援の方法について理解されることを目標とする

① <グループ> 自己紹介・役割分担 2分



② <全体> 状況付与（検討してほしい要支援者の情報を提示します） 2分



③ <グループ> 検討（どんなことができるか話し合ってみましょう） 10分



④ <全体> 発表（共有） 5分



⑤ <全体> 講評 2分

## 1. 自己紹介をしましょう

- 名前
- 活動地域

## 2. 役割分担を決めましょう

- 進行
- 記録
- タイムキーパー
- 発表



# 状況付与

1～3よりふたり選んで、地域でどんなことができるか話し合ってみましょう

## 【共通すること】

- ・3名とも一人暮らし
- ・道端で会って挨拶を交わすことはある

1

自分の力で避難場所まで移動できない

50代 男性 下半身麻痺により車いすを使って生活

2

避難のための情報がなかなかキャッチできない

60代 女性 全盲 普段は白杖を使って生活

3

避難が必要か判断するのが難しい

80代 男性 認知症 説明を理解するのに時間がかかる

各グループで何ができるか  
検討してください



各グループで行った検討内容について  
みなさんに共有してください

## 講 評



# 【解説】視覚障害、聴覚障害／言語障害

## ◆視覚障害

- 全く見えない場合と見えにくい場合がある
- 耳からの情報をたよりにしている
- 一人で移動することは難しい

## ◆聴覚障害／言語障害

- 外見から分かりにくい
- ほとんど聞こえない人や聞こえにくい人がいる
- 目からの情報をたよりにしている
- 言葉の理解や表現が困難な言語障害が重複している人もいる

※視覚と聴覚の両方に障害がある「盲ろう」の方もいる

## ◆支援のポイント

- 正確な情報が得られているか確認する
- 危険を察知しにくいので、移動する際に注意が必要
- コミュニケーション方法に違いがあるため、本人とどのようなコミュニケーション手段がよいか確認する



# 【解説】知的障害／発達障害、精神障害

## ◆知的障害／発達障害

- 話すことや理解することが苦手
- 急激な環境の変化への対応が苦手
- みんなに合わせて動くことが苦手

## ◆精神障害

- 集中力が続かない、人と関わるときに緊張しすぎるなどの症状が見られる
- 継続的な服薬や医療的なケアが必要な場合もある

## ◆支援のポイント

- ゆっくり、具体的に、簡単な言葉で、わかりやすく情報を伝える
- やさしく声をかけ、危険であることを知らせる
- 事前に見通しを示す
- 本人のペースに合わせたはたらきかけが必要



# 【解説】肢体不自由・内部障害・難病

## ◆肢体不自由

- 補装具がない場合、自力での移動が難しい
- 車いすを使用している場合も多い
- 体幹の機能障害では、自律神経の障害を伴うことがある

## ◆内部障害・難病

- 外見からわかりにくい
- 医薬品や専用のケア用品が必要な場合もある
- 医療機器や医師による管理が必要な場合もある

## ◆支援のポイント

- 移動に時間がかかる、または移動が困難な場合もあるため、早急な安否確認が必要
- 移動が難しい方は、移動手段の確保を支援する
- 必要な医薬品やケア用品等が確保できているかを確認する必要がある
- 医療機関との連携が必要な場合もある



# 【解説】要介護高齢者／要支援高齢者

「ひとり暮らし、寝たきり、認知症など」で介護や支援が必要な高齢者の方

## ◆特性

- 体力が衰え、行動機能が低下している（自力で動ける程度は様々）
- 寝たきりや認知症の場合、自分で判断し行動することや自分の状況を説明することが困難
- ひとり暮らしや高齢者のみの世帯も多い

## ◆避難行動で気をつけること

- 早急に安否確認を行い、情報を伝達し、避難誘導を行う
- 自力で移動できる範囲に適切な避難場所が確保できない場合は、移動手段の確保を支援する
- 認知症の方は、なるべく本人の慣れた場所で、家族と一緒にいられるよう配慮する





# 03

## 個別避難計画の目的と 我が市町の取組

**避難行動要支援者が避難するための  
「個別避難計画」を知っていますか？**

# 個別避難計画とは

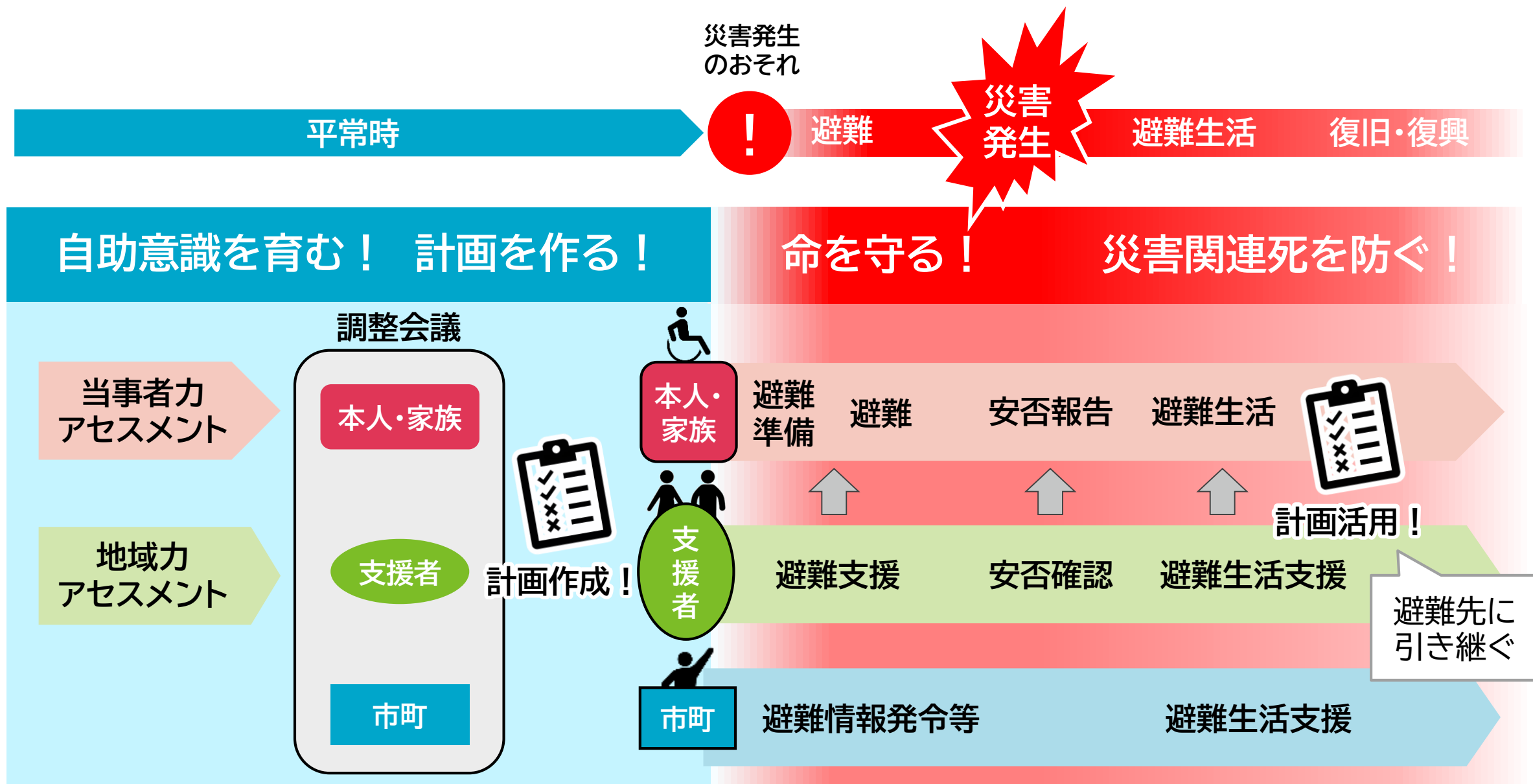
## ■ 個別避難計画とは

災害時に一人では避難することが困難な方(避難行動要支援者)が、いつ・どこに避難するか、誰が支援するか、避難するときどのような配慮が必要かなどをあらかじめ記載した避難計画。 避難行動要支援者ごとに作成する

### 個別避難計画と避難支援の関係(イメージ)



# 個別避難計画と避難支援の関係



# 【事例】 地域での話し合いの場(広島県内)

## ◆ 訓練例



- 避難行動要支援者や地域住民、自主防災組織、福祉専門職などで地域調整会議を実施

# 【事例】 実効性の確保に向けた避難訓練の実施（広島県内）

## ◆訓練例



- 避難行動要支援者本人と、民生委員や防災会など避難を支援する地域の人たちと合同で避難訓練を実施
- 地域内の養護老人ホームにご協力いただき、自宅から福祉避難所に避難することを体験



04

まとめ

# まずは・・・ いざという時に、“いのちを守る”声掛けができる地域の関係づくり

## 関係づくりができていないと

### 要支援者

- 誰も助けしてくれない
- 知らない人の手助けはちょっと…

### 支援者

- 気になるけど、逃げる誘いは迷惑かも
- 人柄等もわからないし気にしても仕方ない

不安

あきらめ

ちゅうちょ

無関心

## 関係づくりができていますと

### 要支援者

- 一緒に逃げてもらえる
- どうやって避難するかわかる

### 支援者

- コミュニケーションがスムーズ
- 逃げる時の必要な配慮もわかる

安心

信頼

スムーズな避難

災害から、誰も取り残さない  
誰も取り残されない

## 今からでもできることは

日常でのあいさつ

地域行事等への関心・参加・案内・呼びかけ

防災訓練への参加

まずは、地域に住む人同士がお互いを知り、  
声掛けができる“顔見知りの関係”を作っていきましょう！



## 地域全体でいのちを守るために

- いざというときには、**地域で逃げる(地域のチカラ)**が必要
- 地域には、自力で避難することが困難な人(**避難行動要支援者**)がいる
- 避難行動要支援者ごとに、「**個別避難計画**」という災害に備える取組が進められている
- 要支援者の避難を**みんなが協力**して支援することで、地域で**誰も取り残されない・いのちを守る**ことができる

一人ひとりの「いのちを守る！」には、みなさんの関わりと協力が不可欠！